

平成25年7月24日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	広報紙発行事業
事業実施前の状況	事務費予算の範囲内で年1回発行。(白黒印刷)
事業実施後の状況	カラー刷りの広報紙を、年3回地域内全戸配布できた。 (22年度以降継続)
事業の効果	各種地域内団体の活動紹介をとりあげることができ、回数もふえたので 地域への活動内容のPRができた。
今後の課題	新規協議会メンバー・安全パトロールボランティアを継続して広報紙で 募集を続けることが必要。

平成25年7月24日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	地域内会館備品整備事業
事業実施前の状況	地域内会館の机・椅子等が旧式で重く、高齢者等が準備に苦勞していた。
事業実施後の状況	机についてはキャスター付きの折りたたみ式に変更、一部会館では合わせて椅子も軽量なものに取替を実施した。
事業の効果	高齢者等の机椅子等の準備作業が大幅に軽減された。 利用者からは感謝されている。
今後の課題	椅子の軽量化がすんでいない会館について、必要性の検討が必要。 (費用対効果の見極めが必要)

平成25年7月24日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	安全パトロール実施事業
事業実施前の状況	PTAによる登校時の見守り活動は通学路を中心に実施されていたが、下校時を含め校区全体の安全パトロール体制がなかった。 H20年度からパトロールを開始することになった。
事業実施後の状況	電動自転車による安全パトロール体制ができ、ボランティアを中心に下校時の校区内安全パトロールが実施された。(平成21年1月以降) 平成23年度につづき、継続実施できた。
事業の効果	安全パトロールによる直接の目につく効果はないが、地域住民に少しずつパトロール実施が認識されてきて、防犯意識の向上に役立っている。 電動自転車3台追加購入し、小柄な人でも参加できるようになった。
今後の課題	ボランティア人員の確保・増員(現状15名)が必要。

平成25年7月24日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	自主防災会資機材整備事業
事業実施前の状況	自主防災会の財源の関係で、炊き出し用の「煮炊きレンジ」がなかった。
事業実施後の状況	組立式の煮炊きレンジを購入、自主防災会の備品倉庫に保管している。
事業の効果	防災体制の強化に繋がった。 24年10月の防災訓練で展示、25年3月には住民を集めての炊き出し訓練を実施した。
今後の課題	自主防災会の資機材については、継続して必要なものを検討する必要がある。

平成25年7月24日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	地域行事等活動促進事業
事業実施前の状況	神田小学校区盆踊り大会が、地域の寄付・市からの定額支援で実施されており、出店等の収益で予算不足をカバーしていた。
事業実施後の状況	市からの定額支援より多くの金額の支援ができた。
事業の効果	地域行事の活性化が図れた。
今後の課題	毎年、助成必要金額の検証が必要。

平成25年7月24日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	神田東公園整地事業
事業実施前の状況	雨水の流れ込み等で、路面に凹凸が目立っていた。
事業実施後の状況	整地用の土を購入し、路面の整地を実施した。
事業の効果	老人会を中心とした地域交流の場として活用されている。
今後の課題	追加購入の必要性をチェックすることが必要。

平成25年7月24日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	水路転落防止柵設置事業
事業実施前の状況	農業用水路に転落防止柵がない箇所が多い。 (PTAアンケート調査でも指摘)
事業実施後の状況	平成20年度申請で未実施個所の防護柵設置がすべて完了。 24年度は追加で、水路の危険箇所1か所に注意喚起の看板を設置した。
事業の効果	実施した場所については水路等への転落の危険は減少した。
今後の課題	道路側溝の深い箇所への対策の検討が必要。 (通学路の危険場所を中心に側溝に蓋を設置する等)

平成25年7月24日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	街路灯強化事業
事業実施前の状況	街路灯不足・照度不足が多く指摘されていた。 (放火事件発生を受けた自主防災会・消防団による夜間パトロールで指摘)
事業実施後の状況	20年度に町会・自治会から要望のあったものを中心に、 街路灯新設・照度アップを実施、校区内の夜間が明るくなった。
事業の効果	校区内の夜間が明るくなったことにより、放火等への牽制効果 が出ていると思われる。
今後の課題	町会・自治会組織の無い地域の街路灯強化が必要。 継続して街路灯設置要望を受け付けるようPRも必要。 農地隣接の場所等に設置する場合は、高さ・向き等の調整が必要。 私有地に設置の場合地主の承諾書が必要となったが、地主をどのように 調査するか検討が必要。

平成25年7月24日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	キッズランド用備品購入事業
事業実施前の状況	キッズランドのパソコン教室用備品が不足し、十分な活動ができなかった。
事業実施後の状況	パソコン教室として必要なトナー、用紙類を支援することにした。
事業の効果	パソコン教室事業の充実及び参加者の増加が図れた。。
今後の課題	毎年、備品購入必要金額の検証が必要。

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	市民レクリエーション大会事業
事業実施前の状況	神田小学校区住民運動会が、地域の寄付・市からの定額支援で実施されており、予算不足を盆踊り収益等でカバーしていた。
事業実施後の状況	市からの定額支援より多くの金額の支援ができた。
事業の効果	地域行事の活性化が図れた。
今後の課題	毎年、助成必要金額の検証が必要。

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	学校体育館施設開放支援事業
事業実施前の状況	運動用備品の消耗・老朽化が目立っていた。
事業実施後の状況	バドミントンネットの支柱ほか不足備品を購入した。
事業の効果	体育館施設開放活動がより充実したものになった。
今後の課題	消耗品てきな備品については定期的に必要性のチェックが必要。